

内閣府だより

8月、「アジア青年の家2010」を実施します

<http://ayepo.go.jp/> (公式サイト)



オープンセミナー公開実験
(写真右は講師の毛利衛さん)

「アジア青年の家」は、日本とアジア諸国などの中高生が、夏休み期間中に沖縄の地で共同生活をする人材育成事業です。

本年度は、日本とアジア諸国など(15か国)から合計80名の中高生の参加が決まりました。内訳は、沖縄県16名、沖縄県以外の日本32名、アジア諸国などから32名。

プログラムの詳しい内容や実際の活動の様子は「アジア青年の家」公式サイトで情報発信していきますので、是非御覧ください。

なお、8月16日に開催を予定しているオープンセミナーは、「アジア青年の家」参加者だけでなく、科学技術や環境問題に関心のある中高生の皆さんにも御参加いただくことができます。

参加の御応募については、今後、「アジア青年の家」公式サイトや新聞広告などを通じて御案内していく予定です。

内閣府沖縄担当部局では、8月に「アジア青年の家」事業を実施します。

「アジア青年の家」は、日本とアジア諸国などの中高生が、夏休み期間中に沖縄の地で共同生活をする人材育成事業です。

本年度は、日本とアジア諸国など(15か国)から合計80名の中高生の参加が決まりました。内訳は、沖縄県16名、沖縄県以外の日本32名、アジア諸国などから32名。

プログラムの詳しい内容や実際の活動の様子は「アジア青年の家」公式サイトで情報発信していきますので、是非御覧ください。

なお、8月16日に開催を予定しているオープンセミナーは、「アジア青年の家」参加者だけでなく、科学技術や環境問題に関心のある中高生の皆さんにも御参加いただくことができます。

参加の御応募については、今後、「アジア青年の家」公式サイトや新聞広告などを通じて御案内していく予定です。

「アジア青年の家2010」プログラム

テーマ: 考えよう～生命(いのち)を支える水
[Get real about Water! Indispensable to life.]

	主な内容	場所
プレセッション (8月5日～9日) [多様な文化体験を通じた絆づくり]	○講義(水環境問題に関する基礎知識) ○フィールドワーク(「種の多様性」を学ぶ) このほか、ハーリー競漕、沖縄伝統文化体験など	県立糸満青年の家(糸満市)
開会式 (8月10日)	○基調講演	万国津梁館(名護市)
第1セッション (8月10日～16日) [水問題の現状と課題]	○講義(アジア諸国の水問題) ○講義(水と食糧問題) ○講義(水分野の国際協力) このほか、体験活動(シュノーケリング、漂着ゴミ清掃活動)など	国立沖縄青少年交流の家(読嘉数村)
オープンセミナー (8月16日)	○基調講演 ○出前講座	パレット市民劇場(那覇市)
民泊体験 (8月17日～18日)	農業体験 など	伊江村
第2セッション (8月19日～22日) [水問題の解決策を考える]	○講義(雨水の活用～問題は水、解決は雨水～) ○講義(水と農林水産業) ○講義(企業の取組～海水を飲み水に～)など	ゆめ舎リゾート(恩納村)など
閉会式 (8月23日)	○参加者による成果発表	沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)

「かりゆしウェア」の普及・促進について

内閣府沖縄担当部局では、6月1日から始まったクールビズ期間に合わせて、「かりゆしウェア」の普及・促進に取り組んでいます。

5月25日、内閣府沖縄担当部局が所在する庁舎内において、県物産公社主催による「かりゆしウェア」展示販売会を開催しました。

また、クールビズ期間中は共同購入を行い、職員による積極的な着用を呼びかけるなど、クールビズの一例として「かりゆしウェア」の普及に努めています。



「かりゆしウェア」展示販売会を視察する前原沖縄担当大臣